



2023年4月12日

各位

会社名 株式会社 梅の花
代表者名 代表取締役社長 本多 裕二
(コード：7604 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役経理部長 兼 総務担当
増村 政信
(TEL 0942 - 38 - 3440)

連結業績予想の修正及び配当予想の修正(復配)に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2022年6月14日に公表いたしました2023年4月期の連結業績予想及び配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想について

2023年4月期(通期)の連結業績予想(2022年5月1日～2023年4月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	29,989	850	726	630	78.68
今回予想 (B)	27,612	84	10	△155	△29.33
増減額 (B-A)	△2,377	△766	△716	—	
増減率 (%)	△7.92	△90.12	△98.62	—	
(ご参考) 前期実績 (2022年4月期)	22,591	△1,630	△1,792	217	19.58

2. 業績予想の修正理由

2023年4月期におきましては、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限の緩和により回復基調にありますが、当期第3四半期における新型コロナウイルス感染症第7波及び第8波の影響を継続的に受けたことや、ウクライナ情勢の長期化や急激な円相場の変動による原材料価格及び光熱費の高騰並びに人件費の上昇等の影響を受けたことにより厳しい状況が続いている中で、原材料価格高騰に対応するため、季節メニューのブラッシュアップや新商品投入など行い価格改定を進めました。また、セントラルキッチン生産性向上のため機械化を進め内製化と外販の販売強化に取り組みました。更に幹線便や配送回数削減等の物流の見直しや廃棄ロス削減、自店製造の強化等の収益改善に努めましたものの、当初の計画を下回ることが予測されたことにより修正をいたしました。

3. 配当予想について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
(普通株式)	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回発表予想	—	—	—	未定	未定
今回予想	—	—	—	5.00	5.00
当期実績	—	0.00	—	—	—
前期実績 (2022年4月期)	—	0.00	—	0.00	0.00

4. 配当予想の理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な課題と位置付けており、強固な経営基盤の確保によって、安定した収益体質による株主資本利益率の向上に努め、業績に裏付けられた適正な利益配分を行うことが必要と認識しております。

しかしながら、昨今の新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、当社業績にも甚大な影響を受けておりました。本公表の業績予想修正のとおり、当初の予想を下回るものの、第7波及び第8波のコロナ禍においても、業績が回復し財務状況も改善していることから、当期業績並びに将来の事業展開に必要な内部留保の水準や株主様への還元等を総合的に勘案し、未定としておりました2023年4月期の期末配当予想を1株当たり5円に修正いたしました。

- ※1. 上記の業績予想及び配当予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。
- ※2. 当社が発行するA種優先株式の配当につきましては、追ってご連絡いたします。

以 上